

輸送による温度対策・結露対策などのエキスパート！

保冷箱・保冷試験、何でもご相談ください。

保冷・保温・遮熱お助け隊

<http://onshitsudo.com/>

ティ・エス・ケイ株式会社

TEL:076-478-5550

FAX:076-479-9051

保冷保温遮熱お助け隊

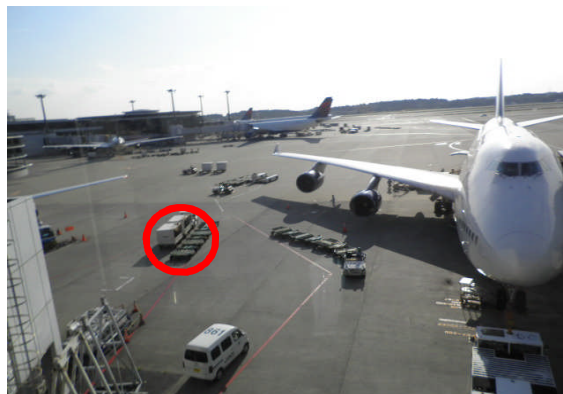
で

検索



輻射熱防止(遮熱) 航空コンテナ (AV) シート

航空輸送をする際のコンテナ内の保冷を簡単に対応できます！



設置

通常の航空コンテナを使用し、冷凍食品などの配送を行うことが可能です。

航空輸送は温度変化が少なく安心・・・と思われる方が非常に多いですが、航空輸送においても常温キープは意外に難しい場合が多々あります。

■ 積み降ろし作業について この積み降ろしの時間は1～2時間と短時間ではありますが、「滑走路の外気温+直射日光+直射日光の照り返し」に注意を払う必要があります。

■ 滑走路にて・・・ 外気温+照り返しだけでも40℃以上になる場合が多く、更に直射日光を浴びてしまいますと製品の温度はあっという間に40～50℃まで上がってしまいます。



輻射熱防止(遮熱) 航空コンテナ (AV) シートの試験データ

AVライナー AV Liner

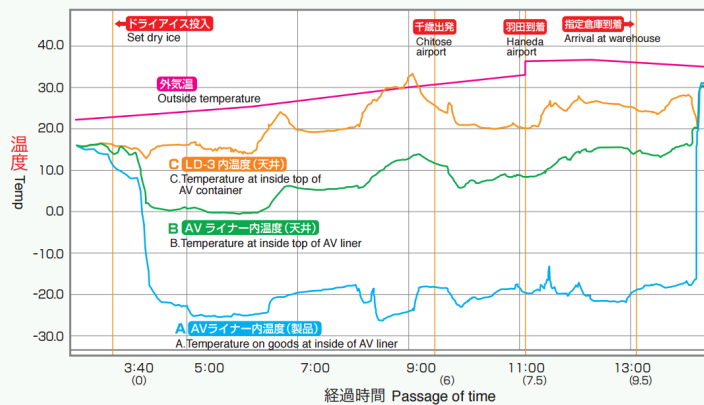
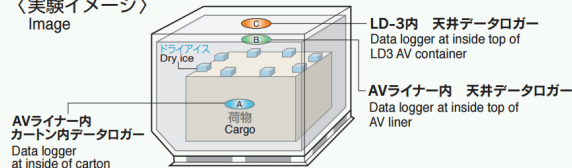
千歳空港 → 羽田空港
Chitose Airport → Haneda Airport

輸送期間:2010年6月8日
Passage of day: 6/8/2010

- 輸送製品: 冷凍食品
Item tested: Frozen food
- ドライアイス投入量: 60kg
Weight of dry ice: 60kg

目的: 冷凍輸送
Purpose: Frozen food transportation

〈実験イメージ〉
Image



航空コンテナの輸送の際、ドライアイスを60kg投入して約-15℃～-20℃環境を約12H保持することができました。

輻射熱防止(遮熱) 航空コンテナ (AV) シートの実用例

■ 冷凍食品など

規格サイズ

航空コンテナ用の冷凍向けのシートとなります。

製品名	入数	重さ【kg】
輻射熱防止(遮熱) 航空コンテナ(AV)シート	1	約8kg

